

HFA キッズ通信



<http://www.hyogo-fa.gr.jp/kids/index.html>

姫路サッカー協会 取り組みについて

(一社)姫路サッカー協会キッズ委員会では、ほかの都市協会同様に、キッズサッカーフェスティバル、訪問サッカー学校、キッズリーダー養成講習会の3つの事業を展開しています。

キッズサッカーフェスティバルは年1回の開催ですが、毎回300人ほどの小さな子どもたちがウイング陸上競技場に集まってくれます。女子サッカーが盛んな姫路では、女子チームの選手たちが、会場設営はもとより、小さい子どもたちと一緒にボールを追いかけたり、ゲーム運営をしたりして、フェスティバルを大いに盛り上げてくれ、なくてはならない存在となっています。



訪問サッカー学校では、スポーツクラブエストレラの協力のもと、年間100回を超える訪問数、延べ3000人を超える子どもたちに、サッカーの楽しさを伝えています。ときにはボールやゴールを背負い、船に乗って島の幼稚園にも出向きます。

今年度、姫路から新たにキッズリーダーインストラクターが誕生しましたので、今後はキッズリーダーの養成にも力を入れていきたいところです。

(姫路キッズ委員会 綾部由美)

TOYOTA巡回指導(訪問スクール)

日本サッカー協会(JFA)は、幼いうちからスポーツの楽しさが経験出来るようキッズプロジェクトを設置し47都道府県サッカー協会と協力し合いながら各地の幼稚園・保育園・こども園などでボール運動遊びや簡易サッカーゲームを行う巡回訪問スクールを展開しています。

JFAは、子どもたちのスポーツ活動を推進するため色々な準備を進めていましたが、この活動に対しトヨタ自動車株式会社が深い理解を示して下さりオフィシャルサポーターとして参画して頂くこととなりました。

兵庫県サッカー協会キッズ委員会の取り組みとしては、2017年2月に巡回指導の視察、トヨタ各社(販売店・レンタカーなど)からの参画協働の申し込みを行い、兵庫トヨタ自動車様・ネットトヨタソナ神戸様より申し込みがあり、8月にトヨタ社員向けにキッズリーダー講習会を開催しました。2017年度は、兵庫県下13都市協会及び兵庫トヨタ自動車様・ネットトヨタソナ神戸様と協働で西宮協会で4園 丹有協会で2園 神戸協会で1園の訪問スクールが開催出来ました。

今後、益々多くの都市協会・各幼稚園・保育園・こども園で訪問スクールが開催できることを望んでいます。

(訪問スクール 岡俊彦)

JFA キッズサッカーフェスティバル 2017 兵庫 in ユニバー記念競技場

「JFA キッズサッカーフェスティバル 2017 兵庫 in ユニバー記念競技場」を12月16日(土)開催しました。

曇り空肌寒い空模様でしたが、子どもたちは関係なし元気120%全開でサッカーを楽しんでくれました。今回はスタッフに姫路日ノ本短期大学サッカー部、ネットトヨタソナ神戸様の皆さまの協力のもと楽しくサッカーに目覚めてくれたことと思います。今後も子どもたちにサッカーとの出会いをたくさん提供できるように頑張っていきます!

(キッズ委員会)



インフルエンザ

昨年末は散発的な発症であったインフルエンザが、年明け、園や学校が始まり、人と人の交流が多くなった途端に大流行となってきました。学級閉鎖も相次いでいます。今年のインフルエンザは例年と少し異なる面をもっています。一つは例年ですとインフルエンザA型が流行した後にB型が増加してくることが多いのですが、今年は両型が同時に流行しています。また、インフルエンザは高熱を特徴としますが予防接種の接種済み、未接種にかかわらず、それほど高熱でない発症もみられます。

いずれにしろ予防対策として、外出時はマスクを着用し、帰宅時は手洗い、うがいの励行を心がけること、できれば不急の外出や集会を避けること、などといった平凡な日常生活上の注意を続けてほしいと思います。

予防接種は罹患率を下げ、罹患してもやや軽く経過すると、統計的には報告されていますが、時には全く無効だったと思われる例もあります。しかし、ある学者の報告によると1986年まで小中学校において無料で行われていた予防接種が1987年以降中止となり、日本国内における全死亡率および高齢者の肺炎死亡率が明らかに上昇したとのことです。

小中学校での全生徒に対する強制的な接種は国民の集団的防衛に役立っていたと考えられます。

実際そういう側面も目的として実施されていました。

罹患したときは最低5日間の通学停止が規定されています。

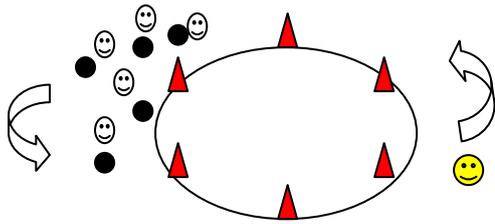
インフルエンザ罹患後は元気そうに見えても体力的にはかなり弱っています。

通園・通学の許可が出ても2~3日はサッカーの練習や試合など激しい運動は控えるべきでしょう。(てい小児科 鄭 源紀)



キッズドリル

円系ドリブル鬼ごっこ



- ・コーチは歩いてタッチしに行く。
- ・子どもはドリブルしながら逃げる。
- ・上達度合いを見極め、反対に行ったり、止まったり、フェイントをかけたりする。
- ・タッチされたら円の中でボールタッチ10回など。

- 「key」
- ・観る
 - ・観ながらボールコントロール
 - ・ターン
 - ・こまかいタッチ

※円にすることで、利き足ばかりで扱っている
と、相手（コーチ）が見えない時がある事に
気付けたら良い。

(JFA 公認キッズリーダーインストラクター 船本浩樹)

食育コラム

2017年の講習会では「食べることが好きな子に」ということと、カラダづくりの話をお伝えしました。

食事をおいしく食べるということは当たり前のようにも思えますが、意外にむずかしいようで「少食」「食に興味がない」という悩みをよく耳にします。少食の場合は「もっと食べられるはず」と大人が思っているだけの場合もあるので目安を知ってもらうことは大切な、と思っています。

あとはおなかのすいたときにタイミングをのがさず食べられているかどうか。

疲れすぎていたり、体調が悪いと食がすすみません。 疲れていても食事を食べられるようになるには、目で見て鼻でかいで「おいしそう」と感じることで、そして「食べてみたらおいしかった・食べられた」という体験を重ねることです。

「しっかり食べたほうが体調がいい」ということが体験的にわかるようになれば努力をすることもできるようになります。疲れたときには好きなものなら食べられる、ということもあります。

まずは彩り・香りなど意識して色々な味を体験してくださいね。

(管理栄養士 原田亮子)



セミナーに参加して…

12月15日(金)～12月17日(日)に行われた「JFA グラスルーツセミナー in 和歌山」に参加させて頂きました。参加者は総勢15名(和歌山9名、大阪1名、奈良1名、兵庫4名)最終日に「グラスルーツフェスティバル」を行うため、講義、指導実践を通じ参加者全員で、企画運営を行い大変勉強になりました。フェスティバルのフィロソフィー「皆をウェルカム、Fun&Quality/楽しみと質(学び)」を念頭におき実践してきました。

自分では、いつもやっていたつもりでしたが、いざやってみると、なかなかですね。

最終日「グラスルーツフェスティバル」

合計98名(当日6名)紀三井寺陸上競技場で行いました。

子どもたちの笑顔があり、充実した3日間でした

参加させて頂きありがとうございました。



(村上 勝紀)

子どもは外で遊ぶべき!

幼児期の外遊びによる運動経験は、生涯にわたる健康の基礎を作る土台となります。

子どもは運動活動を主に遊びの中で行っていくのですが、動的遊びの機会が減少していることが現在問題視されています。

年齢や性別、種目にもよるが、約3～6ヶ月も運動能力の遅れが示されているのです。外遊び経験の低下に影響を及ぼしているのが、子どもを取り巻く環境です。具体的には、テレビやテレビゲーム、インターネット等の目まぐるしい普及があります。

安心して外遊びができる場所が減っていることや、どろんこ遊びなどで汚れることを嫌がる保護者の存在などが挙げられます。

親としても子どもの外遊びに付き合うのは大変だったりしますよね。

できる範囲で構いませんので、是非お子さんに外遊びの機会をたくさん与えてあげて欲しいと思います。

ママやパパが子どもの頃遊んだ遊びと一緒にするのも楽しいですよ。子どもの心と体がすくすく育ちますように…

(キッズ委員長 川瀬良裕)

お知らせ♪

詳しくは
ホームページを
ご覧下さいネ♪



JFAキッズサッカー(U-6・8)フェスティバル兵庫

3/24(土) 10:20～

会場：三木総合防災公園第2陸上競技場

8歳以下の子どもを対象に

「FIFA グラスルーツフェスティバル」方式による
ミニゲームとトレーニングを行います



<発信元> (一社) 兵庫県サッカー協会キッズ委員会

住所：神戸市中央区八幡通 2-1-10

電話：078-232-0753 FAX 078-232-4647

URL：http://www.hyogo-fa.gr.jp/

メール：info@hyogo-fa.gr.jp

